



支えあい、ともに笑顔でくらすまち

# 秋葉区社協だより

## Vol.45

2023.10.8 発行



### 満日地区の紹介

#### — 満日声かけ訪問活動 —

高齢化が進み、一人暮らしの方が増えたことから地域で支え合う活動の必要性を感じ、平成25年から75歳以上のお一人暮らしの方を月に1回定期的に声かけ訪問しています。訪問の際には、火の用心などの声かけもしつつ、お話しています。

訪問員や地区社会福祉協議会役員等の交代もあったため、訪問員、民生委員、町内会長、満日地区社会福祉協議会三役で打ち合わせ会を開催しました。今後も活動が継続していけるよう、連携して取り組んでいきたいと考えています。

(満日地区社会福祉協議会 長谷川会長)

## 秋葉区社協だよりの 郵送申込みを 受け付けています

より多くの皆さまに情報をお伝えできるよう希望される方には個別に郵送をしています。お近くの方にぜひご案内ください。

お申し込み先：秋葉区社会福祉協議会  
TEL0250-24-8376  
FAX0250-23-3322



年3回(7月・10月・3月)に発行予定です!

秋葉区社協だよりは、新聞折り込みでお届けするとともに、区役所、コミュニティセンターなどに設置をいただいております。

目の不自由な方を対象に、点字版や音声版(デージー・CD版)も発行しています。

## 今回の 特集

近年、超高齢社会や地域のつながりの希薄化などにより様々な課題に直面している中、安心して暮らせる地域社会を実現するために取り組まれている、地域での見守り活動を紹介します。

中も読んでね





近年、地域における人間関係の希薄化などにより社会的孤立の問題が出ています。また、少子高齢化に伴い、単身高齢者や高齢者夫婦世帯の増加など、支援を必要としている世帯が増え、様々な課題に直面しています。そのような中、身近な地域の中でお互いのさりげない気づかいやちょっとした声かけなど、地域での見守り活動によって、様々な福祉課題を早期に発見し、必要な支援につなぐことができます。

そうした地域社会を実現するために、身近な地域での見守り活動が重要となってきます。

## 荻川地区

お互いが支え合いながら、高齢になっても安心して暮らし続けることのできる荻川を目指して、コミュニティ協議会(担当：地区社会福祉協議会)と自治会・町内会が共同で高齢者等の見守り活動「おぎかわあったかネット」を実施しています。現在16の自治会・町内会で実施し、9月25日現在で79名の高齢者が利用されています。

見守り活動を進めるにあたっては、自治会・町内会ごとに状況確認のための連絡会を開催したり、利用者からの相談については、地域包括支援センターなどの関係機関へつないだりしています。

利用者や家族からは訪問の楽しさや安心感等の多くのお声を頂いています。



7月には、見守り協力員の皆さんを対象に、「見守り協力員交流会」を開催しました。約60名の参加がありました。交流会では、協力員としての感想や思い、気になること、そして、よりよい活動のためのご意見を多く頂きました。

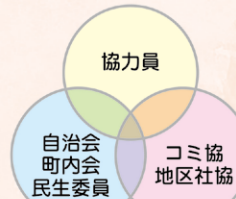
皆さんとても真剣で、この取り組みの大切さと、より良い荻川地域づくりを進めていきたいという思いを感じた研修会となりました。

### ～交流会における声より～

- ・訪問してもらうと安心できる、と感謝されている。
- ・コミュニケーションをとりながら継続していきたい。
- ・ゴミ出しの相談があり、ふれあい福祉サービスを紹介した。
- ・今回のような交流会は参考になる。



見守り活動を進めるためのガイドブックを作成しています



～連携を大切にしています～

## 金津地区

金津地区では、「愛あい訪問」などの訪問による見守りや「ながら見守り」などのゆるやかな見守り等、多くの見守り活動が行われています。

また、コミュニティ協議会では子どもたちの通学時に金津全体を見回ったり、防犯のための椅子を設置する「びいす金津」の取り組みなど、子どもたちの安全を守るための見守り活動にも取り組んでいます。

金津地区の令和5年度地域福祉懇談会の中で、「金津地区には多くの見守り活動がある。それぞれの役割の整理や周知が必要」等、見守りについても多く話し合われました。また、「福祉推進はみんなで考えていく必要がある」といったご意見も頂きました。

役割の整理等、コミュニティ協議会・地区社会福祉協議会、自治会・町内会、民生委員が連携し、地域全体で取り組むことで、安心して暮らせる地域づくりにつながっていきます。



## 小合地区

地域の75歳以上のみの世帯、障がい者の単身世帯を対象に、自治会長・町内会長を中心に各組長や地区社会福祉協議会の役員で令和3年度から小合地区見守り事業「なじらて訪問」に取り組んでいます。

年に2回、同じ地域に住む人で「なじらて」と声かけ訪問しており、訪ねて来るのを楽しみに待っている方や訪問をきっかけにサロンに参加するようになった方がいたり、地域とのつながりを深める機会となっています。

定期的顔合わせすることで、会話の中で困りごとや話題に上がるようになり、地域の助け合い活動にもつながっています。



訪問時にはティッシュボックスを持参しています

## 新金沢町

高齢者の閉じこもりや孤独感を解消し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようにと平成28年から見守り事業を始めました。組長が月1回訪問し、対象の方も「一人でいると寂しいので、来てくれて嬉しい」と話され、喜ばれています。活動を始めた際に、他地区の見守り活動を参考にするため視察や研修会も行いましたが、核家族化など地域の状況が変わっていく中で課題が出てきているため、今後検討してよりよい活動を継続していきたいと思っています。



お互いさまの気持ちを大切にしたい



地域の情報を届けていきたい

## 秋葉区社協が進める見守り活動

現在、見守り訪問活動やサロン活動など、地域では様々な見守り活動が行われています。様々な取り組みが一体となり、互いに存在を認め合い、適度な距離感を保ちながらも、「困ったときはお互いさま」で助け合える地域づくりは、安心して暮らせる地域づくりにつながっていきます。

秋葉区社協では、各地域での見守り活動の検討や様式類の作成等に協力します。ぜひお声がけください。

## 地域福祉活動計画から様々な地域福祉活動が展開されています

区内11ある地域コミュニティ協議会ごとに作成された地域福祉活動計画にもとづき、様々な地域福祉活動が展開されています。

地域福祉懇談会から緊急情報キットの活用や移動支援の検討等、「人がつながりともに支えあう やさしいまち」を目指し、各地区で地域の実情に合わせた取り組みが進められています。





# 支え合いのしくみづくり

「支え合いのしくみづくりについて知りたい」と思った時など、いつでもお声がけください。皆様のところへ説明に伺います。

2層は中学校区で分けられた3つの地域を圏域として、支え合いのしくみづくりを進めています。

昨年度(令和4年度)は、圏域ごとの支え合いのしくみづくり会議において、圏域の課題を出し合いました。

今年度(令和5年度)は、具体的に課題を掘り下げ、今後どのような取り組みをプラスすることで、よりよい地域づくりにつながるかを話し合いました。圏域ごとの内容は次のとおりです。

## 新津第一・第二中学校圏域

今年度の取り組み

- ①「緊急情報キットの活用方法について」
- ②「見守りにおける認知症の対応について」

緊急時等の備えに活用する「緊急情報キット」については、目的や活用の周知、更新や記入の有無、緊急連絡先のあり方などについて、様々な意見が出されました。

認知症については、超高齢社会が進んでいる今、認知症の対策や正しい理解の普及について、さらに考えていかなければならない大切な課題であると確認しました。



## 新津第五中学校圏域

今年度の取り組み

- ①「見守り対象外世帯の課題について」
- ②「支え合いのしくみづくりの取り組み方法(地域の相談窓口)について」

見守りの対象として把握できていない世帯への取り組みについては、困りごとが支援者につながるしくみとして、新津東部地区社会福祉協議会が作成している「相談先一覧表」を他地区も検討できないかなどの意見が出されました。

また、小さな単位での相談窓口については、当面、第五圏域の支え合いのしくみづくり推進員を中心に地域づくりを進めることで確認しました。



## 小合・金津・小須戸中学校圏域

今年度の取り組み

- ①「支え合いのしくみづくりの周知について」
- ②「圏域全体での取り組みについて」

支え合いのしくみづくりの周知については、支え合いの基盤となる自治会・町内会や茶の間・サロン等において、周知を行い、説明の際には、わかりやすい言葉や地域にあった事例を取り入れたらどうかといった声が出されました。

圏域全体の取り組みについては、この周知活動を圏域全体で進めることを確認しました。



これらについては、さらにまとめ、地域で取り組む際には、話し合われた内容も含めて、地域の皆様と検討を行い、つながり支え合う地域づくりを進めたいと考えています。

# 赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします

10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。秋葉区でも自治会・町内会を通じて各世帯にお願いする戸別募金のほか、街頭募金、学校や職場、企業等、様々な方法で募金をお願いしております。

集められた募金は、県内の福祉施設や秋葉区内の地域活動などの福祉事業を推進する様々な活動に役立てられています。災害時には、被災地支援にも役立てられます。

今年も皆様の温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

この募金は任意のものであり、「募金額」は皆様の自由な判断でお願いいたします。ただし、具体的な目安額を示してほしいという要望もありますので、当会といたしましては一世帯あたり400円を目安としてお願いできれば幸いです。



ひとり親家庭を対象とした食料支援を豊かに実施



田家3丁目町内会の高齢者見守り事業(令和4年度)

## 令和4年度共同募金運動のご報告(秋葉区)

運動期間中ご支援いただきました地域の方々、学校、企業、各種団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和4年度共同募金総額	
12,153,988 円	赤い羽根募金
	8,285,924 円
	歳末たすけあい募金
	3,868,064 円

## 「赤い羽根」の配布終了のお知らせ

「赤い羽根」の配布について、地域の皆様から頂いております様々な声からの現状や生産数の不足、価格の上昇等の生産にかかる状況などから、令和6年度以降は区内すべての自治会・町内会への配布を終了させていただきます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

# 令和4年度秋葉区社会福祉協議会事業報告及び決算概要

誰もが役割を持ち、お互い認め合い支え合うことのできる「地域共生社会」の実現のため、秋葉区社会福祉協議会では、秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画「人がつながり、ともに支え合う、やさしいまち」及び新潟市社会福祉協議会福祉ビジョン2021「支え合い、ともに笑顔で暮らすまち『にいがた』」の基本理念の下、地域コミュニティ協議会や地区社会福祉協議会、自治会・町内会、民生委員児童委員等地域の関係団体や関係機関及び事業者、行政と連携・協働し、様々な活動に取り組みました。地域福祉活動計画の推進では、区内11の地域コミュニティ協議会・地区社会福祉協議会ごとに、年2回の地域福祉懇談会を開催させていただき、1回目は令和4年度の取り組みの確認、2回目はふり返りを通して、課題や評価、次年度へ向けての方向性を確認することができました。併せて、取り組みにあたっては、支え合いのしくみづくり会議の内容を全地区で取り入れるなど支え合いのしくみづくりと一体的にすすめることができました。

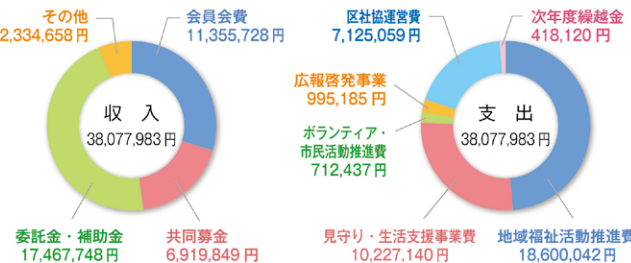
また、制度の狭間や社会的孤立に起因する様々な複合的な課題に対しては、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)を中心に、個別ケースの対応やひきこもり支援に関する取り組み、ひとり親世帯を対象とした食料支援等を行いました。食料支援については、区役所、フードバンク、新津商工会議所や、区内の企業等からご協力を得て実施することができました。

さらに、新型コロナウイルスの影響により、つながり、交流する機会が減少していることから、「見守り活動」の重要性をテーマとした区社協福祉推進会議の開催や施設・登録ボランティアを対象としたオンラインによるボランティア交流会を開催させていただきました。加えて、企業や学校における福祉教育では、福祉・ボランティアの学

びを通して福祉・ボランティアの関心を高め、地域とのつながりや地域課題に対する取り組みなども行いました。

他にも、地域とあらゆる事業所が連携・協働して支え合う地域づくりを進めるため、社会福祉法人の公益的な取り組みについての検討や災害時の備えでは、秋葉区社会福祉協議会としての災害時対応の流れや関係団体・機関と連携した災害ボランティア運営研修会を開催いたしました。

今年度の取り組みや課題を整理し、次年度以降も継続した取り組みを進めていきたいと考えております。





# 令和5年度秋葉区地域福祉推進フォーラム

**日時** 令和5年12月9日(土) 13:30～16:00  
**参加費** 無料  
**会場** 秋葉区文化会館  
**定員** 会場300名、オンライン100名(事前申込制)  
**主催** 秋葉区社会福祉協議会  
**共催** 新潟市(秋葉区健康福祉課)

**【第1部 福祉功労者表彰式】**  
**【第2部 地域福祉推進フォーラム】**  
 テーマ：伝えあう想いから支えあうカタチへ ～地域共生社会を目指して～

## ◆シンポジウム

<シンポジスト>

- ①地域の茶の間 三善道 「絆」の会  
会長 小林 俊介氏  
副会長 三澤 栄子氏  
構成員 中野 勇作氏
- ②新津第一・第二圏域支え合いのしくみづくり会議  
構成員 中野 勇作氏
- ③ニコニコキッチン新津店  
店長 佐々木 健氏
- ④秋葉区社会福祉協議会  
コミュニティソーシャルワーカー  
熨斗 綾香

<コーディネーター>

新潟医療福祉大学  
社会福祉学部社会福祉学科  
教授 青木 茂 氏

○シンポジウムでは、区内で取り組まれているたくさんの方の地域活動を映像でご紹介します。

詳細については、後日秋葉区社協ホームページに掲載いたします。

## 令和5年度 ボランティア講座

### 障がい児・者の将来のための 今からできる準備講座

個別相談に、親亡き後や将来についての心配の心が寄せられています。障がいのある人がいつまでも尊厳を持って自分らしく暮らせるように、事前にできることを学ぶ機会として開催します。

**日時** 11月11日(土) 13:30～15:15  
**会場** 新津地域交流センター 301・302研修室  
**対象** 障がいをもちの方、そのご家族  
**申込方法** 秋葉区社会福祉協議会までお問い合わせください。

**定員** 20名(先着) **参加費** 無料

#### 内容

- 1 親亡き後の準備について～障がいのある人の生活から考える～(株式会社真友社 石田友実様)
- 2 個別相談から考える 親亡き後のための準備(秋葉区社協職員)
- 3 質疑応答・懇談会
- 4 地域とのつながりからできることについて(秋葉区社協職員)

### ～ひきこもり家族の懇談会のご案内～

秋葉区社協では、ひきこもりに関する取り組みを行っており、家族の懇談会については、不定期で開催しています。次回開催は2月を予定しています。詳細については、1月上旬ごろ秋葉区社協ホームページに掲載もしくは、公共機関等へチラシを設置いたしますので、ご確認ください。  
 「本人にどう声をかけたら良いのかわからない」「甘やかしすぎたのかな」など様々な想いを分かち合う場です。話したくないことは話さなくても良いです。ぜひお気軽にお越しください。

## 歳末ふれあい弁当をお届けします

歳末たすけあい募金を財源として実施しています。

歳末時期の見守り活動の一環として、孤立感を軽減し、温かい気持ちで今年を締めくくって新年を迎えていただけるよう、**令和5年12月23日(土)**に歳末ふれあい弁当をお届けします。

今年より「おせち料理」から「歳末ふれあい弁当」に変更となりました。また実施日も昨年までと変更となりますのでご注意ください。

**対象** ○障がいをもちの一人暮らしの方  
○75才以上の一人暮らしで友愛訪問事業を利用している方

**申込み** 民生委員または秋葉区社会福祉協議会へご相談ください。

\*友愛訪問事業…地域の方々(民生委員児童委員、ボランティア等)のご協力をいただき、見守りの必要な満75才以上の一人暮らし世帯等へ1回訪問する活動です。

## 子どもの居場所づくり活動団体支援事業

「子ども食堂を作ってみたくけど、何から始めたらいいのかわからない…」など立ち上げの相談から運営支援までご相談可能です。ぜひ、子どもたちの笑顔あふれる地域をつついでいきましょう。

子どもの社会的孤立の防止を図ることを目的に、地域社会の中で子どもの居場所づくりに取り組む団体に対し、当該事業の実施に要する経費の一部を助成します。

**対象団体** 子どもの居場所づくりを目的に月1回以上区内で活動に取り組んでいる団体

**事業例** 子ども食堂、学習支援、子どもを中心とした世代間交流拠点 など

**助成金** 年間3万円(上限)

## 各種助成のご案内

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金を財源として実施しています。

### 歳末たすけあい事業

住民同士の交流を目的とする歳末時期に行う事業(クリスマス会や賽の神など)を支援します。

**対象団体**：自治会・町内会、地区社会福祉協議会、地域コミュニティ協議会、福祉施設

### 歳末除雪見守り事業

助け合いと見守りを目的として実施する除雪活動を支援します。

**対象団体**：自治会・町内会、福祉施設

### ひとり親世帯等入学準備助成事業

来春小・中学校へ入学するお子様がいらっしゃるひとり親世帯または両親がいない世帯の方へランドセル・指定体操着購入費の一部を助成します。

**対象者**：ひとり親世帯または両親がいない世帯、かつ、市民税非課税世帯(※生活保護世帯除く)

### 共同募金公募型助成事業

新潟市内における地域福祉推進を目的に公募型助成事業を募集します。

**対象事業年度**：令和6年度事業

\*対象事業が各種ありますので、詳細は秋葉区社協ホームページ「お知らせ」をご覧ください。

詳細や必要な書類等については、秋葉区社会福祉協議会までお問い合わせください。

秋葉区社会福祉協議会 TEL0250-24-8376

## ひとり親家庭のみなさまへの食料支援を実施しました

新型コロナウイルス感染症や物価高騰により、ひとり親家庭の皆様、不安な気持ちに少しでも寄り添い子どもたちの笑顔につながるよう、赤い羽根共同募金を財源とし、2日間で245世帯に食料品を無料で配布しました。

受け取られた方からは、「卵が高助かります」「支援いただいた方に感謝します」など、感想をいただきました。

また、「ひとり親世帯の福祉に関するアンケート」調査を行いました。食料支援以外にも支援を検討して参りたいと思います。

**実施日** 令和5年7月28日(金)、29日(土)

**会場** 新津健康センター



多くの皆様からのご協力により、ひとり親家庭の皆様へ温かい気持ちを届けることができました。

- 様々なフード様
- (社福)親和福祉会 コトイロ日和様
- 秋葉区社会福祉協議会登録ボランティアの皆様
- 秋葉区社会福祉協議会 役員 (順不同)

## ～フードパントリーのご案内～

フードバンクにいがた様とフードパントリー(食料品等を無償で配布)を行います。

先着100名とさせていただきます。なくなり次第終了とさせていただきます。

詳細は、秋葉区社協ホームページで確認ください。

**日時** 10月28日(土)13:00～16:00  
**会場** 新津地区市民会館第一会議室  
**対象** 秋葉区内在住のひとり親世帯  
**持ち物** エコバックなど食料を入れる袋

\*当日は「児童扶養手当受給者証」を必ずお持ちください。

## あたたかいご寄付をありがとうございました

秋葉区内の福祉事業・活動に活用させていただきます。(令和5年6月1日～令和5年8月15日)

寄付者氏名(敬称略)	寄付金額・物品	寄付先
ラブママ	30,000円	秋葉区社協
匿名	135,060円	新潟市社協
匿名	10,000円	秋葉区社協
匿名	2,387円	秋葉区社協

## 秋葉区社協だよりの郵送申込みを受け付けております。

秋葉区にお住まいの方で新聞未購読等、秋葉区社協だよりが届いていない世帯で郵送を希望される方は、秋葉区社会福祉協議会までお申込みください。

## 社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会

# 秋葉区社会福祉協議会

新潟市秋葉区新津本町 1-2-39

TEL : 0250-24-8376 (代表) FAX : 0250-23-3322

TEL : 0250-24-8345 (秋葉区ボランティア・市民活動センター)

URL : <http://niigataakihaku-syakyo.jp/>

秋葉区社会福祉協議会

検索



ホームページも見てね

